

所在地:	神奈川県 大和市 下鶴間 1612-1		
敷地面積:	26811㎡	延床面積:	25581㎡
設立:	1970年10月	従業員数:	193名
ISO14001取得:	1997年4月	ISO14001最新更新:	2011年7月
主要製品:	CD12cm、DVD、BD		
環境コミュニケーション:	10年度		
情報開示:	1件	工場見学:	0名
問合せ:	コーポレート管理部 環境・社会貢献室	地域貢献活動:	2件
		TEL:	045-450-2512



ごあいさつ

当社はビクタークリエイティブメディア(株)として、2007年に日本ビクターから分社した「音・映像の編集からディスクプレス・パッケージまで一貫生産」を行なう会社です。事業そのものの創業は1927年(昭和2年)と古く、時代と共に扱う製品はレコードからCDやDVD、ブルーレイディスクへと変わってきましたが、一貫して「ディスクを通じて皆様に音と映像と感動をお届けする」事業を続けています。環境保全への取り組みは、社会と調和した良好な地球環境づくりとして、業界でもいち早く1997年4月にISO14001を取得し、環境負荷低減に向けた活動を続け、現在はCO2や廃棄物の削減を重点的に取り組んでいます。また、周辺地域の清掃や地域団体主催の緑地保全活動への参加など、地域社会への貢献と環境保全にも積極的に取り組んでおります。



環境責任者
濱口 敏明

2010年度の環境重点テーマの取組み

方針	目標	成果
電力使用量の削減	CO2総排出量12,390(t-CO2)以下	2010年度CO2排出量は、8,657(t-CO2)で目標に対して30%の削減、前年比で▲5.7%を達成。 ◆主な活動としては、冷却水(チラー)装置及び空調設備の制御改善等があります。
廃棄物の削減	原単位排出量2.13(g/枚)	2010年度原単位排出量は、1.78(g/枚)で目標に対して16.4%の削減を達成。 ◆主な活動は、木製パレットの業者への返却及び分別の徹底による有価物化の推進等です。

製品・環境配慮ポイントの紹介

製品名称：
12cm CD (DVD)
トルケース入



製品名称：
12cm CD (DVD)
ジュエルケース入



製品名称：
ブルーレイ (BD)
トルケース入



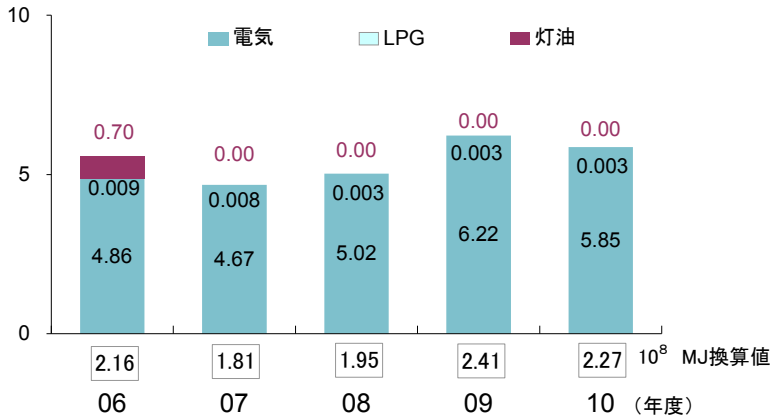
事業概要 日本標準産業分類：情報記録物製造業(分類番号 3296)

音楽・映像・データ(ROM)の製作会社様から記録ディスク(CD・DVD・BD)の発注を受け、先ず金型となる金属原盤を起こした後、ポリカーボネートを射出成形し、基板にデジタル信号ピットを転写します。その表面に反射膜をスパッタリングした上で、CDの場合は樹脂保護膜のコーティングとレーベル印刷を行い(DVDの場合は基板の張合わせ工程が加わります)、ディスクが完成します。このディスクに、お客様からお預かりしたカード・ブックなどの支給品をケースに納め、パッケージして配送センターを通じてレコード店様に納品することが、一般的な流通経路となっております。

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 2010:2010年4月1日～2011年3月31日

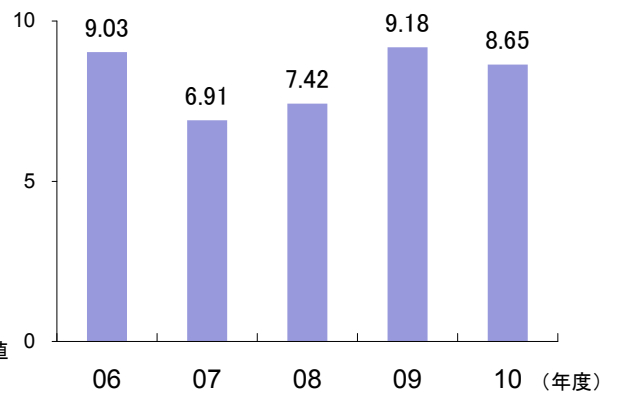
エネルギー使用量

単位:千kl



CO2排出量

単位:千t

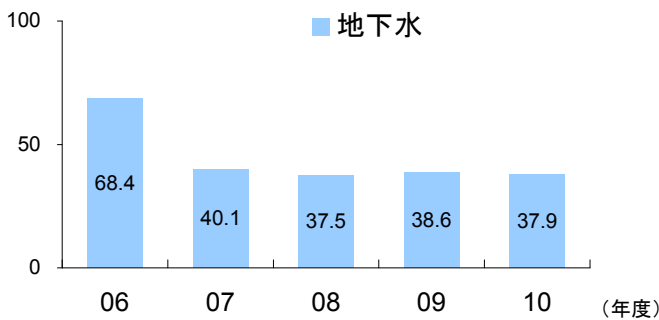


算出基準について

電力のCO2排出係数は、0.391kg-CO2/kWhと固定して算出。換算係数の影響を排除した計算をしている。

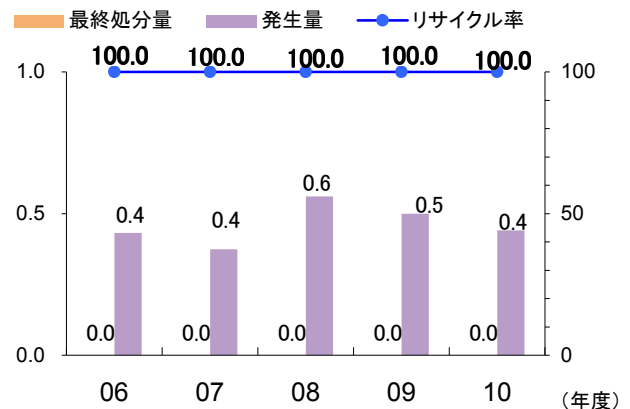
水の使用量

単位:千m³



産業廃棄物・有価発生物

単位:千t、%

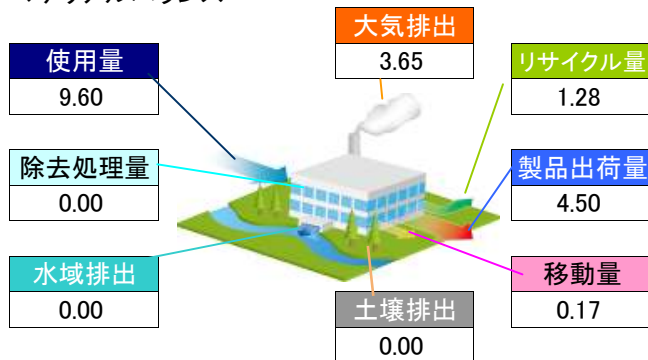


化学物質

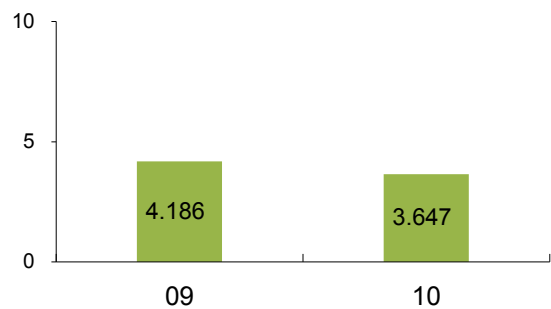
単位:t

マテリアルバランス

10年度



重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項

重点削減物質=PRTR法、VOC(大気汚染防止法)、GHG(地球温暖化対策法)の中で、環境影響の大きいとされる物質を指定。(電気・電子業界での使用実績の大きいものなど 約60物質群) 尚、工場では化学物質管理指針を定め管理をしています。

環境法令等の順法状況 10年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm3/h	N/A					
NOx	ppm	N/A					
ばいじん	g/Nm3	N/A					

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	N/A					
BOD	mg/l	N/A					
窒素	mg/l	N/A					
リン	mg/l	N/A					

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 敷地境界8ヶ所	65.00	55.00	48.60	50.00	1回/月
		夜 敷地境界	50.00	50.00	-	-	-
振動	dB	昼 敷地境界6ヶ所	65.00	55.00	38.25	47.00	2回/年
		夜 敷地境界	60.00	55.00	-	-	-

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

法令規制値及び自主規制値の超過はございません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
指導、指摘事項はございません	

環境方針

日本ビクター株式会社国内グループ環境方針

<経営基本方針スローガン>

「文化に貢献 社会に奉仕」

<基本理念>

日本ビクター株式会社国内グループは経営基本方針スローガンのもと、すべての事業活動において「地球環境の保全」に取り組み、国際社会から信頼される「良き企業市民」として持続的発展が可能な社会の実現に向かって努力します。

<基本方針>

広く環境の改善は企業の社会的責任であることを深く認識し、「オーディオ・ビジュアル・マルチメディア、システム・ネットワーク、コンポーネント・デバイス、メディア、IT、インテリア家具及び関連商品等の、研究、開発、生産、販売、施工、並びに業務用機器のメンテナンスサービス及び業務マネジメントサービス」を主とした本社・事業部・関連会社を含めた事業活動において、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染予防活動を次により推進します。

1. 製品・サービスを含む事業活動により生ずる環境影響を常に考慮し、環境負荷の継続的な低減を図ります。
2. 国内グループの環境側面に適用する法規制及びその他の要求事項を順守し、必要に応じて自主基準を設定し管理の質の向上に努めます。
3. 環境改善活動を推進するための組織・体制を常に整備し、環境監査を実施することにより活動の継続的向上を図ります。
4. 国内グループのために働く人の環境に関する意識を高め、全員で環境の改善に取り組めます。
5. 地域社会との共存共栄を図るとともに、取引先及び海外事業所とも可能な限り協力して、環境改善を推進します。
6. 次の項目に重点的に取り組み、地球環境の保全に寄与します。
 - ①環境負荷低減型の研究開発と商品開発を進め、積極的に訴求します。
 - ②地球温暖化防止のため、省エネルギー活動を通してCO2排出量の削減に取り組めます。
 - ③廃棄物の資源化及び発生量の削減により、資源の有効利用を図ります。
 - ④化学物質を適正に管理し、使用量の削減に取り組めます。

～この環境方針は、社内外に環境パンフレットなどで公開しています。～

制定:1998年4月 1日
改訂:2011年4月21日
作成者:日本ビクター株式会社
国内グループ環境保全統括者
取締役 小宮山 正前

環境負荷削減の取り組み事例

＜事業活動における環境配慮

ゴミ分別の徹底

リサイクルできるように徹底した分別を各職場で行っており、ほぼ100%のリサイクルを達成しています。



観測井戸の設置

地下水への汚染を監視する観測井戸を設け定期的に測定しており、異常はありません。



環境コミュニケーション事例

「神奈川 eco ネットワーク」への登録（平成16年1月21日）

CO2（二酸化炭素）やSPM（浮遊粒子状物質）削減のため、神奈川県内企業の自主的取り組みをインターネット登録し、公表・情報交換するネットワークですが、電力・灯油・廃棄物削減等の数値目標、社会貢献活動などを登録しております。

「大和市 環境部 ホームページ」への登録（平成16年9月15日）

市内の事業者の環境保全活動を支援するため、事業所間の情報交換と、行政からのイベントや動向の情報の発信が予定されております。

「その他 情報公開」

周辺住民及び企業の皆様にご迷惑をお掛けしないよう環境保全に取り組んでおります。環境情報が必要な場合は公開いたしますので、ご遠慮なくお申し付け下さい。



地域団体緑地保全活動への参加

7月実施された「法人会の森」下草刈り活動に参加しました。

グリーン作戦の実施

12月工場外周道路の植栽手入れ（雑草取り）や空き缶・ゴミ拾い等の清掃活動を行い、工場周辺美化活動に努めております。

緊急事態への準備と対応

【考え方と訓練計画】

環境に影響を及ぼす異常事態及び緊急事態の発生への対応手順を定め、異常事態及び緊急事態による環境影響の予防、緩和及び再発防止を図っています。

緊急事態への準備と対応は、年度初めに緊急事態訓練計画を立て、その設備・作業に対して手順書を基に緊急事態訓練を年1回実施すると共に随時手順の見直しを行い緊急事態が発生しないように日々管理しています。尚、万が一発生した場合の対応として最善、細心の備えを心掛けて取り組んでいます。

PCB使用機器の保管管理：漏出想定訓練の様子

